

【がん種】 [多発性骨髄腫](#)
 【レジメン名】 Elotuzumab+Ld①1～2コース目
 【登録番号】 011316
 【1コースの期間】 4週間
 【総コース数】 2コースまで(忍容性があればElotuzumab+Ld②3コース目～を施行する)
 【催吐性リスク】 軽度:レブラミド、最小度:エムプリシティ
 【抗がん剤の組織障害性】 ノンビシカント(非壊死性):エムプリシティ
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 編集中

【必要な検査】 編集中
 【根拠論文】 N Engl J Med 373:621-631, 2015.

【点滴の時間】 [day1]1コース目約4時間45分, 2コース目～約4時間15分, [day8, 15, 22]1コース目約4時間30分, 2コース目～約4時間15分
 【費用】 編集中
 【その他】 エムプリシティ:正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要。調製後8時間以内に投与を終了する。
 レブラミド:レブレイトでの運用, 必ず院内処方, VTEのリスクに応じてバイアスピリン錠 1錠/日 or ワルファリンカリウム錠 (PT-INR 2～3を目標)を服用する(Leukemia 22, 414-423, 2008.).

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日										
					1	...	8	...	15	...	21	22	...	28	
1	レナデックス錠 4mg	7 錠/回	内服	1日1回起床時	○		○		○						
2	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ&フラッシュ	○		○		○						
3	アセトアミノフェン錠 200mg	3 錠/回	内服	1日1回 エムプリシティ投与45分前	○		○		○						
4	生理食塩液 50mL デカドロン注射液 6.6mg/2mL ポララミン注 5mg/1mL ファモチジン注射用 20mg	1 B 1 V 1 A 1 A	側管	全開 開始時にアセトアミノフェン内服	○		○		○						
5	生理食塩液 100mL	1 B	側管	45分	○		○		○						
6	生理食塩液 250mL エムプリシティ点滴静注用 蒸留水 100mL	1 B 10 mg/kg 1 B	側管	フィルター使用 エムプリシティ溶解用	○		○		○						
				1コース目 day1 30mL/hで開始、開始30分後に60mL/h、開始1時間後に120mL/h 1コース目 day8, 15, 22 60mL/hで開始、開始30分後に120mL/h 2コース目～120mL/h											
7	レブラミドカプセル	25 mg/回	内服	1日1回夕食後	○	○	○	○	○	○	○				